

令和 7 年度 第 2 回
京都大学大学院人間・環境学研究科
修士課程学生募集要項

本研究科の修士課程は、大学院設置基準にいう博士課程の前期 2 年の課程である。

大学院人間・環境学研究科の目的

人間・環境学研究科は、環境、自然、人間、文明、文化を対象とする幅広い学問分野の越境を通して、人間と環境のあり方についての根源的な理解を深めるとともに、近い将来だけではなく遠い未来をも見据えた先駆的研究の推進、教育研究における国際連携の強化、自然科学・人文科学・社会科学の垣根を越えた総合的な産学官連携に資する研究と教育によって、人間及び環境の問題に対して広い視野と高度な知識、高い倫理性と強い責任感をもって取り組むことのできる研究者、指導者、実務者を養成することを目的としています。

1. 募集人員

人間・環境学専攻 50名

2. 出願資格—出願時において、次のいずれかの資格を有する者

- (1) 大学又は専門職大学を卒業した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者及び令和 7 年 3 月 31 日までにそれに該当する見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下この項において同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が指定するものに限る。）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
- (7) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和 28 年文部省告示第 5 号)及び令和 7 年 3 月 31 日までにそれに該当する見込みの者
- (9) 令和 7 年 3 月 31 日で大学又は専門職大学に 3 年以上在学したことになる者(学校教育法第 102 条第 2 項の規定により、これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって、所定の単位(専門科目 56 単位以上を含め、計 112 単位を下限とする。)を優れた成績をもって修得し得ると本研究科において認める者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 7 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの

【注 1】出願資格(9)・(10)により出願を希望する者は、出願に先立ち、出願資格の審査を行うので、申請に必要な書類を令和 6 年 11 月 8 日(金)までに本研究科大学院掛へ請求・入手し、関係する証明書を添えて大学院掛へ書留便で郵送すること。
(令和 6 年 11 月 15 日(金)午後 5 時(必着))

【注 2】外国の大学を卒業(見込みも含む)した者は本研究科が定める出願期間前に、下記の AAO(Admissions Assistance Office、以下「AAO」)において出願資格の照会をすること。令和 6 年 11 月 26 日(火)までに照会手続が完了していない場合は、出願することができない。また、出願の際に、AAO からの結果通知メール件名欄に記載されている ID 番号を、履歴書(本募集要項添付の所定用紙)の右下にある記入欄に必ず記入すること。

AAO についての HP

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/study1/graduate/graduateinfo/ku-aa0>

3. 出願書類等

下記の出願書類を**所定封筒(願書等の入っていた青色封筒)**により**書留便**で郵送すること。

(1) 入学願書・写真票・ 受 験 票	所定用紙に必要事項を記入のうえ、上半身脱帽正面向きで、出願前 3 か月以内に撮影した写真(縦 3 cm×横 2.4 cm)を各票それぞれの所定の枠内に貼付すること。 記入にあたり願書裏面の注意事項を熟読のこと。※受験票は 1 月 17 日頃郵送予定
(2) 卒業(見込)証明書及び 成 績 証 明 書	出身大学学長又は学部長が作成したもの。(外国の大学はコピーでも可。なお、大学学部編入した者は、編入前の大学の成績証明書も提出。)
(3) 入学検定料収納 証明書 貼付台紙	検定料 30,000 円 振込期日 令和 6 年 12 月 1 日(日)～令和 6 年 12 月 11 日(水) (期間外取扱不可) *国費留学生の場合「奨学金受給証明書」をもって入学検定料に代える。 (支払方法) 「京都大学 E X 決済サービス」(https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/hae/) にアクセスし、画面の指示に従って、入学検定料を支払うこと。 ・手数料 (650 円) が必要。 ・必ず「納入者名」が出願者本人の氏名であることを確認のうえ納入のこと。 (出願者以外の名義で納入された場合、願書を受理できない可能性がある。) ・支払い完了後、支払い確認画面から収納証明書を印刷して、必要な部分を切り取り、「入学検定料収納証明書貼付台紙」に貼付して提出すること。 支払い方法について不明な点があれば、以下に問い合わせること。 「京都大学 E X 決済サービス」ヘルプデスク TEL 03-6837-7944 受付時間 10:00～18:00 問い合わせ受付期間 令和 6 年 12 月 1 日(日)～令和 6 年 12 月 11 日(水) 注 入学検定料を振り込んだが出願しなかった場合、または、誤って二重に振り込んだ場合は、本募集要項表紙掲記の大学院掛にその旨を申し出ること。 *平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災ならびに平成 28 年 4 月に発生した熊本地震、平成 30 年 7 月豪雨、平成 30 年 9 月に発生した北海道胆振東部地震、令和元年 10 月に発生した台風 19 号、令和 2 年 7 月豪雨、令和 6 年能登半島地震による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除することがあります。詳しくは 11 月 15 日(金)までに、本研究科大学院掛まで問い合わせること。
(4) 受験票等送付用封筒	所定封筒に出願者の郵便番号・住所・氏名を明記し、410 円分の切手を貼ること。
(5) あ て 名 票	所定用紙に合格通知等を受け取る住所・氏名・郵便番号を記入すること。
(6) TOEFL/TOEIC スコアの写し	外国語試験を B 方式とする講座の教員を志望する者は、対象となる TOEFL もしくは TOEIC のスコア (令和 4 年 4 月 1 日以降の受験有効) の写しを提出すること。インターネット経由で出力したものは認めない。なお、受験当日はスコアの本紙「Test Taker Score Report (TOEFL) または Official Score Certificate (TOEIC)」を持参すること。詳細は、3 頁 6. 選抜試験実施方法を参照のこと。 ※令和 5 年 4 月以降の TOEIC 公開テストを受験した者は「TOEIC デジタル公式認定証」を印刷したものでも可。なおこの場合でも受験当日に改めて「TOEIC デジタル公式認定証」を印刷したものの持参が必要。
(7) 論 文	専門試験に論文試験の審査を加えようとする者は、出願に先立ってあらかじめ第 1 志望教員に相談して許可を得ること (別表 1 に記載する「論文試験」欄に「×」がある教員を第 1 志望教員または第 2 志望教員にして論文試験を受験することはできない)。 論文試験による出願を認められた者は、これまでに執筆した研究論文(未発表のものも可)とその要約(日本語文 4,000 字程度を経じたもの)をそれぞれ 3 部提出すること。 論文が入る大きさの封筒又は小包に、(1)～(6)・(8)の出願書類を入れた所定の青色封筒を同封し、必ず書留便で郵送すること。

(8) その他の添付書類 ① 履 歴 書 ② 住民票、在留カード 又はパスポートの 写しのいずれか ③ 学位記の写し又は 学位授与証明書	① 外国の大学を卒業した者及び卒業見込みの者は、履歴書(本募集要項添付の所定用紙)を提出すること。 ② 外国人留学生で、日本に在留している者は市区町村長の発行する住民票又は在留カードの表・裏両面の写し(住民票、在留カードは在留資格、在留期間が記載されたもの)を、海外在住の者はパスポートの写し(顔写真の貼付されたページ)を提出すること。 ③ 上記2. 出願資格(2)による学士の学位を授与された者は、学位記の写し又は学位授与証明書を提出すること。なお、学位授与見込みの者は、当該「修了見込証明書」及び「学士の学位授与申請(予定)証明書」(様式随意:学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載があるもの)を提出すること。
--	--

4. 出願手続

郵送に限る。

出願者は、前記の出願書類を取り揃え、**所定封筒(書留便)で郵送すること。(直接持参しても、受け付けない。)**

なお、出願書類に不備があれば受理しない場合がある。

5. 願書受理期間

令和6年12月9日(月)から令和6年12月11日(水)午後5時まで(必着)。ただし、令和6年12月9日(月)以前の発信局消印のある書留速達郵便に限り、期限後に到着した場合でも受理する。

なお、願書受理後に受験票を令和7年1月17日(金)頃に発送する予定。

6. 選抜試験実施方法

選抜試験は外国語試験、専門試験および口述試験により実施する。専門試験および口述試験の実施方法は共通であるが、外国語試験は下記の表の通りA・Bの2方式に分けて実施する。第一志望教員の所属する講座のとり方方式に従うこと。

A方式	B方式
試験第1日目に第1外国語、第2外国語の筆答試験を課す。 02.人間・社会・思想講座 03.芸術文化講座 05.言語科学講座 06.東アジア文明講座 08.文化・地域環境講座	令和4年4月1日以降に受験したTOEFL/TOEICのスコア提出をもって外国語試験に替える。(詳細は欄外の説明を参照のこと) 01.数理・情報科学講座 04.認知・行動・健康科学講座 07.共生世界講座 09.物質科学講座 10.地球・生命環境講座

B方式の外国語試験はTOEFLもしくはTOEICのスコアで代用する。対象となるTOEFLもしくはTOEICのスコア(令和4年4月1日以降に受験したものが有効)の写しを出願時に提出すること。受験当日に持参されたスコアの本紙「Test Taker Score Report (TOEFL)」または「Official Score Certificate (TOEIC)」と照合して得点を確認する。(インターネット経由で出力したものは認めない。持参がない場合、別のスコアを持参した場合は専門科目以降の受験資格を失う。)(※)

対象とするスコアは下記の通りである。

TOEFLはTOEFL-iBT(Internet-based Test)のスコア(当該試験日のスコア)を有効とし、My Best™スコア及びTOEFL-ITP(Institutional Testing Program)のスコアは認めない。

また、TOEICについてはTOEIC L&R 公開テストのスコアのみを有効とし、TOEIC Bridge や TOEIC S&W のスコアは認めない。また、団体特別受験制度(IPテスト)におけるスコアも認めない。

なお、TOEFL-iBT と TOEIC のスコア換算には下記の換算式及び「TOEFL®Internet-based Test Score Comparison Tables」の換算表を使用する。

$$\text{TOEIC スコア} \times 0.348 + 296 = \text{TOEFL-PBT スコア}$$

※令和5年4月以降のTOEIC 公開テストを受験した者は「TOEIC デジタル公式認定証」を印刷したものでも可。

なおこの場合でも受験当日に改めて「TOEIC デジタル公式認定証」を印刷したものの持参が必要。

7. 試験日程等

試験場：京都大学吉田南構内（詳細は受験票送付時に案内する）

・外国語科目試験（A方式）

令和7年2月12日（水）	
外国語 （筆答試験） 午前9時 ～11時 （注） 1言語につき1冊の語学辞書（ただし、電子辞書を除く）の使用を許可する。	<受験生一般> 英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・イタリア語・中国語・スペイン語・アラビア語・朝鮮語のうちから別表1に記載する第1志望教員の指示に従い第1外国語と第2外国語を選択すること。 第1外国語、第2外国語に同一外国語を選択できないが、別表1の「英語併願」欄に「○」のある教員を第1志望教員とする者は、第1外国語に英語を選択する場合、第2外国語として第2外国語用の英語問題を選ぶことができる。 外国語は出願時に選択し、出願後の変更は認めない。
	<外国人留学生> ※在留資格が「永住者」の者を除く 第1外国語：日本語A（より高度な内容）または日本語B（一般的な内容） 第2外国語：前記9か国語のうちから選択 （問題の選択については、別表1に記載する第1志望教員の指示に従うこと。）

・専門科目試験

令和7年2月12日（水）	
専門科目 （筆答試験） 午後0時半 ～3時	本研究科において勉学を希望する専門分野（別表1に記載する第1志望教員の指示する専門科目）についての学力を問う。 なお、専門分野に関係した外国語の問題を加えることがある。 詳細は別表2「専門科目出題説明一覧」を参照のこと。 専門分野は出願時に選択し、出願後の変更は認めない。

試験科目別配点

科	目	配点
外国語（A方式）	第1外国語	80
	第2外国語	20
外国語（B方式）	TOEFL/TOEIC	*100
専門科目（筆答試験）		**300
合 計		400

* 換算の目安は前頁に記載の通りとする。

** ただし、論文受験許可者の配点は論文 200 点、筆答試験 100 点とする。

・口述試験

令和7年2月13日（木）	
午前 9 時～ （所要約 25 分）	本研究科において勉学を希望する専門分野についての学力等を口頭で問う（専門分野に関連した外国語についての質問を加えることがある）。 なお、個別の受験者の面接時間と会場は受験票送付時に同封する面接表を参照のこと。

・論文試験（選択にあたっては、3. 出願書類等(7)を参照のこと。）

令和7年2月13日（木）	
午前 9 時～ （所要約 25 分）	提出した論文を審査する（論文についての口頭試問及び口述試験の内容を含む）。

※前日の専門科目試験（筆答試験）を受験しなかった者については口述・論文試験を行わない。

・予備日（令和7年2月14日（金））

暴風警報の発令等により試験実施が困難な場合に、試験の実施日程を1日ずつ繰り下げる場合がある。
その場合の予備日を上記の日とする。試験日を変更する場合は、試験予定日の朝までに人間・環境学研究科ホームページ（<https://www.h.kyoto-u.ac.jp>）及び人間・環境学研究科掲示板にて告知するので、必ず確認すること。

8. 合格者発表

令和7年2月21日(金)午後1時頃、大学院人間・環境学研究科公用掲示板に発表する。

なお、受験者の便宜のため、合格者受験番号を一時的にホームページに掲載するが、正式な発表は人間・環境学研究科公用掲示板で確認すること。（電話等による結果の問合せには応じない。）

合格者には2月28日(金)頃に合格通知書を簡易書留にて発送する。

掲示の合格発表は受験番号のみで行うので、各自の合格した講座・担当教員については「合格通知書」により確認すること。（参考）人間・環境学研究科ホームページ <https://www.h.kyoto-u.ac.jp>

9. 入学手続等

入学料 282,000 円 ＊入学時に改定されることがある。

授業料 前期分 267,900 円（年額 535,800 円） ＊入学時、在学時に改定されることがある。

入学手続場所・入学手続日・入学手続書類等については、合格通知書と併せて送付する。

10. 3年次修了合格者

上記2. 出願資格(9)に該当する者については、合格者発表に際し、これを仮合格者とし在学中の成績が所定の要件を満たしていることを確認したのち、正式の合格者とする。そうでない場合は、不合格とする。

成績確認に必要な書類は、令和7年3月頃の入学手続き時に提出すること。

11. 国費留学生

本研究科を受験しようとする外国人留学生で、国費留学生(文部科学省奨学金受給者)は、入学願書提出に先立ち、本研究科において勉学を希望する専門分野の担当教員に申し出て相談すること。

12. 社会人入学

社会人で、大学院設置基準第14条特例(社会人学生の所属先における勤務条件、通学に要する時間等を考慮し、授業時間は、通常の授業時間帯及び通常の授業時間帯以外の特定の時間又は時期に設ける)による教育の実施を希望する者は、入学願書提出に先立ち、本研究科において勉学を希望する専門分野の担当教員に申し出て相談すること。

13. 注意事項

(1) 出願に関する注意

ア. 別記(3. 出願書類等(7)、11. 国費留学生、12. 社会人入学、別表2「専門科目出題説明一覧」における「博物館文化財学」「現代世界論」「歴史社会論」受験者)した以外の受験希望者についても、出願に先立って志望する教員との面談を希望する者は、研究科のホームページに公開されている教員のメールアドレス等に連絡すること。

イ. 出願手続後は、いかなる理由があっても書類記載事項の書き換えを認めない。また、入学検定料の払い戻しはしない。

(2) 受験に関する注意

ア．試験に関する注意事項等については、願書受理期間終了後受験票の郵送とともに通知する。

イ．試験の解答は日本語で記述すること（試験問題中に解答言語が別途指定されている場合を除く）。

ウ．語学辞書の使用許可については、下記のとおりとする。

a)外国語試験においては、1 言語につき 1 冊の語学辞書（ただし、電子辞書は除く。）の使用を許可する。

b)専門試験においては、辞書の使用を許可しない。

(3) 論文試験受験のために提出された論文は、返却しない。

(4) 入学手続に関する注意

ア．出願時に大学・大学院（研究生等を含む。）に在学の者は、所属長の発行する退学証明書（様式随意。退学の日付は、令和 7 年 3 月 31 日以前であること。）又は卒業証明書等を入学手続時に提出すること。

イ．官公庁・会社等に在職のまま入学する者は、所属長の発行する入学承諾書（様式随意）を入学手続時に提出すること。

ウ．出願時に、**2. 出願資格(2)**に該当する専攻科又は課程に在学の者は、所属長の発行する修了証明書及び学位授与機構の発行する学位記の写し又は学位授与証明書を入学手続時に提出すること。

(5) 障害等があり受験上若しくは修学にあたって配慮を必要とする者は、令和 6 年 11 月 8 日（金）までに、本研究科大学院掛へ申し出ること。

14. 個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、入学試験の実施および入学手続き等のため、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱う。

15. その他

出願書類の郵送を希望するときは、受信場所及び受信者氏名を明記し、270 円切手（第 1 種定形外料金）を貼った標準封筒角形 2 号（332mm×240mm）を同封し、京都大学大学院 人間・環境学研究科 大学院掛に「**第 2 回修士課程学生募集要項請求**」と朱記して申し込むこと

令和 6 年 1 0 月

京都大学大学院人間・環境学研究科

110jinkan_jimu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

令和7年度第2回 修士課程入学試験
第1志望教員が指示する受験科目等一覧

別表1

(1/5)

講座番号	講座名称	第 1 志望 教員氏名	論文 試験	外国語科目					専門科目	
				方式	受験生一般			外国人留学生		
					第 1 外国語	第 2 外国語	英語 併願	第 1 外国語		第 2 外国語
01	数理・情報科学講座	足立 匡義	×	B 方式	-	-	-	-	-	数理科学
		上木 直昌	×		-	-	-	-	-	
		木坂 正史	×		-	-	-	-	-	
		角 大輝	×		-	-	-	-	-	
		林 雅行	×		-	-	-	-	-	
		立木 秀樹	×		-	-	-	-	-	情報科学
		日置 尋久	×		-	-	-	-	-	
		DE BRECHT, Matthew	×		-	-	-	-	-	
02	人間・社会・思想講座	青山 拓央		A 方式	9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	哲学・思想
		安部 浩			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	
		佐藤 義之			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	
		戸田 剛文			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	
		細見 和之			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	
		小林 哲也			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	社会行動論
		柴田 悠			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		永田 素彦	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		石岡 学			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	人間形成論
		大倉 得史			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		倉石 一郎			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		西山 教行			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	
		TAJAN, Nicolas Pierre			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	
		松本 卓也			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	

【留意事項】(次頁以降同様)

※「論文試験」欄に「×」がある教員を第1志望教員または第2志望教員にして論文試験を受験することはできない。

※「9 か国語」とは英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・イタリア語・中国語・スペイン語・アラビア語・朝鮮語を指す

※「英語併願」欄に「○」のある教員を第1志望として第1外国語に英語を選択する場合、第2外国語に第2外国語用の英語問題を選択することができる。これ以外の場合において第1外国語、第2外国語に同一科目を選択することはできない。

令和7年度第2回 修士課程入学試験
第1志望教員が指示する受験科目等一覧

(2/5)

講座番号	講座名称	第 1 志望 教員氏名	論文 試験	外国語科目					専門科目	
				方式	受験生一般			外国人留学生		
					第 1 外国語	第 2 外国語	英語 併願	第 1 外国語		第 2 外国語
03	芸術文化講座	池田 寛子		A 方式	9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	世界文学
		勝又 直也			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	
		小島 基洋			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	
		菅 利恵			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		吉田 恭子			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	
		合田 典世			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	
		霜田 洋祐			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	演劇学・映画学
		須藤 秀平			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	
		木下 千花			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		栁山 智成			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	
		中筋 朋			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	
		仁井田 千絵	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		上田 泰史			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	芸術学・音楽学
		田口 かおり			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	
		武田 宙也			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	母語以外	
04	認知・行動・健康科学講座	久代 恵介		B 方式	-	-	-	-	-	認知・行動・健康科学
		神崎 素樹			-	-	-	-	-	
		小村 豊			-	-	-	-	-	
		齋木 潤			-	-	-	-	-	
		月浦 崇			-	-	-	-	-	
		船曳 康子			-	-	-	-	-	
		内田 由紀子			-	-	-	-	-	
		江川 達郎			-	-	-	-	-	
		萩生 翔大			-	-	-	-	-	

令和7年度第2回 修士課程入学試験
第1志望教員が指示する受験科目等一覧

(3/5)

講座番号	講座名称	第 1 志望 教員氏名	論文 試験	外国語科目					専門科目	
				方式	受験生一般			外国人留学生		
					第 1 外国語	第 2 外国語	英語 併願	第 1 外国語		第 2 外国語
05	言語科学講座	谷口 一美	×	A 方式	9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	言語情報科学
		守田 貴弘	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	
		Ginsburg Jason	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		横森 大輔	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		西脇 麻衣子			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	言語比較論
		堀口 大樹			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	
		塚原 信行	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	外国語教育学
		柳瀬 陽介			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	
		中森 誉之	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		PETERSON, Mark	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		和泉 絵美			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	
		金丸 敏幸			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	
		笹尾 洋介			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	9 か国語から選択	
		David Dalsky				9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 A	
06	東アジア文明講座	佐野 宏		A 方式	9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	東アジア文学・言語論
		須田 千里			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		長谷川 千尋			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		松江 崇	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	
		津守 陽			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	
		太田 出	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	東アジア歴史・思想論
		熊谷 隆之			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		辻 正博	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	
		吉江 崇			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		小野寺 史郎	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	
		福谷 彬			9 か国語から選択	9 か国語から選択	-	日本語 B	9 か国語から選択	博物館文化財学
		大原 嘉豊			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		尾野 善裕			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		上杉 智英			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	
		永島 明子			9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 A	9 か国語から選択	

令和7年度第2回 修士課程入学試験
第1志望教員が指示する受験科目等一覧

(4/5)

講座番号	講座名称	第 1 志望 教員氏名	論文 試験	外国語科目					専門科目	
				方式	受験生一般			外国人留学生		
					第 1 外国語	第 2 外国語	英語 併願	第 1 外国語		第 2 外国語
07	共生世界講座	齋藤 嘉臣		B 方式	-	-	-	-	-	現代世界論
		大黒 弘慈			-	-	-	-	-	
		森口 由香			-	-	-	-	-	
		菊池 亨輔			-	-	-	-	-	
		柴山 桂太			-	-	-	-	-	
		見平 典			-	-	-	-	-	歴史社会論
		佐藤 公美			-	-	-	-	-	
		縄田 浩志			-	-	-	-	-	
		徳永 悠	×		-	-	-	-	-	
		福元 健之			-	-	-	-	-	
		三代川 寛子			-	-	-	-	-	共生社会論
		浅野 耕太			-	-	-	-	-	
		小畑 史子			-	-	-	-	-	
佐野 亘		-	-	-	-	-				
08	文化・地域環境講座	岩谷 彩子	×	A 方式	9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	文化人類学
		風間 計博	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	
		石井 美保	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	
		小島 泰雄	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	地域空間論
		山村 亜希	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	
		久木元 美琴	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	
		中嶋 節子	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	環境構成論
		前田 昌弘	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	
		清野 孝之	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	文化遺産学
		馬場 基	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	
		山崎 健	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	
		脇谷 草一郎	×		9 か国語から選択	9 か国語から選択	○	日本語 B	英語	

令和7年度第2回 修士課程入学試験
第1志望教員が指示する受験科目等一覧

(5/5)

講座 番号	講座 名称	第 1 志望 教員氏名	論文 試験	外国語科目						専門科目
				方式	受験生一般			外国人留学生		
					第 1 外国語	第 2 外国語	英語 併願	第 1 外国語	第 2 外国語	
09	物質科学講座	小松 直樹	×	B 方式	-	-	-	-	-	物理学、化学・ 物質科学、生物 学の中から一つ
		津江 広人	×		-	-	-	-	-	
		藤田 健一	×		-	-	-	-	-	
		廣戸 聡	×		-	-	-	-	-	
		木下 俊哉	×		-	-	-	-	-	物理学
		高木 紀明	×		-	-	-	-	-	
		藤原 直樹	×		-	-	-	-	-	
		森成 隆夫	×		-	-	-	-	-	
		吉田 鉄平	×		-	-	-	-	-	
		舟橋 春彦	×		-	-	-	-	-	
		内本 喜晴	×		-	-	-	-	-	物理学、化学・ 物質科学の中か ら一つ
		田部 勢津久	×		-	-	-	-	-	
		吉田 寿雄	×		-	-	-	-	-	
		中村 敏浩	×		-	-	-	-	-	
10	地球・生命環境講座	宮下 英明		B 方式	-	-	-	-	-	
		土屋 徹			-	-	-	-	-	
		角山 雄一			-	-	-	-	-	
		市岡 孝朗			-	-	-	-	-	生物学
		瀬戸口 浩彰			-	-	-	-	-	
		西川 完途			-	-	-	-	-	
		石村 豊穂			-	-	-	-	-	物理学、化学・ 物質科学、生物 学、地球科学の 中から一つ
		小木曽 哲			-	-	-	-	-	
		加藤 護			-	-	-	-	-	

専門科目出題説明一覧

(1/2)

講座番号	講座名称	科目名	出題内容についての示唆
01	数理・情報科学講座	数理科学	線型代数学、解析学(微分積分学、関数論、フーリエ解析、力学系理論、確率論、微分方程式、関数解析)の知識と理解力を問う。
		情報科学	情報科学全般の基礎的知識と計算機科学・人工知能・データサイエンス等の研究に必要な思考力を問う。 後者は、プログラミング、数理論理学、言語理論、計算理論、符号理論、アルゴリズムとデータ構造、機械学習等の分野および、これらに付随する数学の基本的な素養を対象とする。
02	人間・社会・思想講座	哲学・思想	以下のなかから一つを選択する。ただし、a, b, c, d については、哲学の基礎知識を問う a, b, c, d 共通問題を含む。 a. 自己存在論：存在論・現象学・解釈学を中心に、哲学の知識と思考力を問う問題。 b. 認識人間学：分析哲学・科学哲学・認識論を中心に、哲学の知識と思考力を問う問題。 c. 哲学・文化史：哲学史を中心に、それと関係する科学史・文化史などに関する知識と思考力を問う問題。 d. 人間実践論：現象学・実践哲学（倫理学）を中心に、哲学の知識と思考力を問う問題。 e. 文明相関論：近現代の社会思想にかかわる諸問題を、主としてドイツ語圏の思想家・研究者の視点から問う。 f. 文明構造論：近現代のドイツ文学、精神史についての基礎理解と問題関心を問う。
		社会行動論	以下の論述形式の問題の中から一つを選択する。 a. 社会学 b. グループ・ダイナミックス、社会心理学
		人間形成論	人間形成の諸問題に関わって、精神分析学・精神病理学、発達心理学、教育社会学、教育史、言語教育学から出題した問題の一つを選択し解答する。なお、精神分析学・精神病理学は外国語（英・独・仏）を問う問題（選択式）を含む。
03	芸術文化講座	世界文学	以下の中から出題された問題の一つを選択して回答する。 a. 英語文学：文学史、およびその背景についての基本的知識と、読解力、論述力を問う。 b. ドイツ文学・文学社会学：歴史社会的な観点から、文学や文化について考察する力（語学力を含む）を問う。外国語は英語とドイツ語から選択する。ドイツ語圏に関して研究する者はドイツ語を選択すること。 c. イタリア文学：イタリアの文学、言語、および、その歴史・文化的背景についての基本的知識と理解を問う。外国語の一つはイタリア語を選択すること。 d. ヘブライ文学：ヘブライ語で書かれたヘブライ文学を中心に、ユダヤ諸語で書かれたユダヤ文学、および周辺地域の文学との比較に関する知識と理解力を問う。
		演劇学・映画学	以下の中から出題された問題の一つを選択して回答する。 a. 映画学：映画メディア研究に関する基礎知識、読解力、思考力を問う。 b. フランス文学・演劇：おもにフランスにおける文学・演劇およびその理論に関する知識と論述する力を問う。 c. 英米演劇：英米演劇に関する知識と論述する力を問う。
		芸術学・音楽学	以下の中から出題された問題の一つを選択して回答する。 a. 芸術学：西洋および日本の美学・芸術学・美術史についての知識を問う。 b. 音楽学：西洋音楽史（音楽美学を含む）についての知識を問う。音楽・音楽学に関連する外国語（仏・英から選択）の問題を課すこともある。
04	認知・行動・健康科学講座	認知・行動・健康科学	認知・行動・健康科学講座の受験生は、専門試験科目として「認知・行動・健康科学」を受験すること（これ以外の科目の受験は認めない）。本試験科目では、「基礎」と「発展」の2つの大問を設定し、受験生は各大問に含まれる小問を1問ずつ選択して解答する。 「基礎」の設問では、認知・行動・健康科学講座での研究に関連する基礎的な問題が複数問出題され、受験生はそこから小問1つを自由に選択し、解答する。選択する小問は必ずしも受験生の希望する研究室の専門と同じでなくとも良い。 「発展」の設問では、認知・行動・健康科学講座での研究に関連する発展的な問題が複数問出題され、受験生はそこから小問1つを選択し、解答する。希望する研究室の専門に関連する小問を選択することが望ましい。 本試験科目で出題される内容には、「基礎」「発展」ともに、神経科学（認知神経科学・神経生理学）、心理学（認知心理学・社会心理学・文化心理学）、医学（心の発達と精神医学・予防医学・健康科学）、運動科学（運動制御・運動学習・感覚と運動・骨格筋の生理生化学・神経筋の可塑性）などが含まれる。

専門科目出題説明一覧

(2/2)

講座番号	講座名称	科目名	出 題 内 容 に つ い て の 示 唆
05	言語科学講座	言語情報科学	認知言語学・生成文法・機能的類型論・相互行為言語学などの主要な言語科学理論と関連領域について、主要概念に関する基礎知識および言語事例の理論的な分析力を選択問題により問う。英語問題に加え、選択でフランス語問題を含めることがある。
		言語比較論	諸言語を比較・対照し、分析・記述するために必要な基礎的知識と応用力を問う。
		外国語教育学	以下の中から一つを選択する。 a.外国語教育論(応用言語学に関する知識と理解力を問う) b.言語教育研究開発論(言語教育学に関する知識と理解力を問う)
06	東アジア文明講座	東アジア文学・言語論	以下の中から一つを選択する。 a.日本語学・日本古典文学・日本近代文学に関する専門的知見、および文献解読の能力を問う。 b.中国語学・中国古典文学・中国語圏近現代文学に関する専門的知見、および文献解読の能力を問う。
		東アジア歴史・思想論	以下の中から志望する教員の研究内容に最も近い分野の専門的知識と理解力を問う。 a.古代から中世に至る日本の歴史に関する専門的知識と理解力を問う。 b.中国古代・中世史に関する専門的知識と理解力を問う。 c.中国近世史に関する専門知識と理解力を問う。 d.中国近代史に関する専門知識と理解力を問う。 e.古代から近世に至る中国思想史に関する専門的知識と理解力を問う。
		博物館文化財学	日本を中心とするアジアの美術・工芸・考古に関する専門知識を問う。 受験者は事前に指導を希望する教員と連絡をとること。
07	共生世界講座	現代世界論	以下の中から志望する教員の研究内容に最も近い分野の専門的知識と理解力を問う。 受験者は事前に指導を希望する教員と連絡をとること。 a.経済理論ことにマルクス経済学、および経済思想・社会思想に関する知識と理解力を問う。 b.現代の政治・経済に関わる諸問題についての知識、およびグローバリゼーションの歴史と理論への理解力を問う。 c.アメリカ外交史・文化史に関する知識と理解力を問う。 d.憲法・司法政治に関する理解を問う。比較憲法・比較司法政治(主にアメリカ)に関する理解を問うこともある。 e.国際政治に関する概念や歴史に関する理解を問う。 f.近現代の法哲学・法思想に関する知識と基礎的な理解を問う。
		歴史社会論	以下の中から第一志望として志望する教員の研究内容に最も近い分野の専門的知識と理解力を問う。 受験者は事前に指導を希望する教員と連絡をとること。 a.アメリカ合衆国を中心に西半球における移民の歴史について、資本主義や人種主義をめぐる諸問題を視野に入れて問う。 b.中世を中心に、中近世ヨーロッパ史についてその知識と理解を問う。また英語や関連する専門領域の言語の読解についての試験も行うことがある。 c.19・20世紀を中心に、近現代ヨーロッパ史についてその知識と理解を問う。また英語や関連する専門領域の言語の読解についての試験も行うことがある。 d.中東・北アフリカ地域の近現代史についてその知識と理解を問う。また、英語および関連する地域の言語について、読解力を問う試験を行う場合がある。 e.乾燥地を中心に、自然と人間のかかわりあいの歴史について、資源管理と環境保全、科学知と在来知、技術開発と社会共創をめぐる諸問題を視野に入れて問う。
		共生社会論	公共政策学、環境経済学および社会学法についての理解力を問う。
08	文化・地域環境講座	文化人類学	人類学の理論と民族誌的知識ならびに現代的課題について文化人類学的、社会人類学的視点からの理解を問う。
		地域空間論	人文地理学および地理学の基礎知識と、その応用力を問う。
		環境構成論	建築学・都市計画学・図形科学に関する基礎知識と理解力を問う。
		文化遺産学	以下の中から志望する教員の研究内容に最も近い分野の専門的知識と理解力を問う。 a.古代の都城ならびに考古遺物の研究法に関する専門的知識を問う。 b.保存科学に関する専門的知識を問う。 c.史料(出土文字資料を中心とする)に関する専門的知識を問う。 d.環境考古学に関する専門的知識を問う。

【理科学目】

09:物質科学講座	物理学	力学・電磁気学・熱力学・量子力学・統計力学などから、物理学の基礎学力を問う。
	化学・物質科学	物理化学、無機・分析化学、有機化学等の5問の中から4問を選択して解答する。
10:地球・生命環境講座	生物学	植物学、動物学、系統分類学、生態学、微生物学、生化学、分子生物学など、生物学の基礎的な知識に関する問題の中から、少数の問題を選択して解答する(英語にて生物学の知識を問う場合もある)。
	地球科学	地質学・地球物理学およびそれらの周辺分野に関する基礎的知識とその考察力／応用力を問う。